

団体名	ハンウール自立生活センター
設立年	2014 年
住所	ウランバートル市バヤンゴル区第 18 ホロ—A005 号
電話番号	976-99853849
E-mail	khanuul.ilc@gmail.com
URL/Facebook	<a href="https://www.facebook.com/Хан-Уул">https://www.facebook.com/Хан-Уул</a> бие даан амьдрах төв
代表者名	Тs. Энфтоя
活動内容	<p>障害の重さ、種類に関係なく、自立生活の見解に基づき実施されるインクルーシブな環境を提供し、社会福祉サービスをより洗練されたものにし、障害者の能力向上を目的に活動を行っている NGO です。</p> <p>ハンウール自立生活センターは次の目的のために活動を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個別介助者</li> <li>・ 障害者カウンセリング</li> <li>・ セミナー、情報</li> <li>・ 政策提言</li> <li>・ 就職支援</li> </ul>
日本・各国との協力状況	
JICA との協力状況	









団体名	モンゴル視覚障害青少年協会
設立年	2016年
住所	ウランバートル市バヤンゴル区第18ホロー、83a棟2番入り口1階
電話番号	976-77038003, 976-94743838
E-mail	<a href="mailto:Go.bolormaa@gmail.com">Go.bolormaa@gmail.com</a> <a href="mailto:mhbhzh01@gmail.com">mhbhzh01@gmail.com</a>
URL/Facebook	монголын харааны бэрхшээлтэй хүүхэд залуучуудын холбоо
代表者名	G. ボロルマー
活動内容	<p>当協会は2016年に設立されました。私たちは視覚障害を持つ青少年の権利保護、健康、教育、就労、自立的生活知識の能力を与えることを目的に、活動を行っている非営利、非政府組織です。</p> <p>2019年に労働福祉サービス局から「研修、カウンセリング認定証」を授与されました。2020年に家族青少年開発庁から「子ども保護対策サービス」認定証を授与されました。</p> <p>また、協会所属の「夢の家開発センター」「心理学教育センター」が活動を行ってきました。「夢の家開発センター」を通じて視覚障害の青少年に文化、芸術、スポーツ、コンピューター、外国語の知識を与えています。</p>
日本・各国との協力状況	EU、World Visionと共同で「共に乗り越えよう」プロジェクト (2021年4月～2022年4月)
JICAとの協力状況	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ウランバートル市における障害者の社会参加促進プロジェクト (DPUB)</li> <li>2. 障害者就労支援制度構築プロジェクト (DPUB2)</li> <li>3. 障害児のための教育改善プロジェクト (START2)</li> </ol>











団体名	サルヒチ・ショポー・センター
設立年	2003年
住所	ウランバートル市スフバートル区第4ホロー、50 ミャンガト 22—40
電話番号	976-99746900, 976-96336668
E-mail	<a href="mailto:salkhichshuvuus@gmail.com">salkhichshuvuus@gmail.com</a> , <a href="mailto:khandaa22@yahoo.com">khandaa22@yahoo.com</a>
URL/Facebook	Салхич шувуу ТББ
代表者名	D. バダムハンド
活動内容	<p>サルヒチ・ショポー・センターは、障害者と社会に情報を提供する目的で、教師とジャーナリスト専門のD. バダムハンドの提案で2003年に設立されました。また、障害者に対する見解をポジティブにするために、マスコミと共同でラジオ、テレビ放送を行い、社会の傾向に啓発する活動をボランティアと行ってきました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 2003～2007年に、就労している障害者を支援し、雇用主に感謝し、宣伝し、法的環境を改善する目的で、「シンドルギオン 107.5 FM」ラジオと共同で「生活の輪」番組を作り、毎週再放送も放送しました。</li> <li>➢ 2004～2008年に、モンゴル障害者団体連盟の広報担当として、国会に障害者を支援する「ロビー」団体を設立し、モンゴル障害者団体連盟とその他協会、著名な法律家と共同でモンゴル国憲法改正作業を担当し、政党と「ロビー」団体メンバーに情報提供し、議会の記者と共に広報活動を担当しました。</li> <li>➢ 2010年に、在モンゴルアメリカ大使館の広報担当と「発展のために共に」スローガンで障害者、記者の視察旅行をアメリカではじめて開催することを決定し、2010年10月22日から11月6日に「優秀者の短期研修」に参加することができました。D. バダムハンド記者は2006年からモンゴル雇用主連盟管轄の障害者副委員会のリーダーを務め、雇用者らに障害者についての正しい理解を与え、障害者への見解を改善する目的で記事、番組を作成してきました。</li> <li>➢ 「サルヒチ・ショポー・センター」管轄の「オユーニィ・エルチ」思春期若者クラブを2010年に設立し、職場を提供し、生活の正しい習慣を身に付けさせる活動を開始しました。</li> </ul>
日本・各国との協力状況	1997年以降、モンゴル障害者団体連盟を通じて中国、韓国、ロシア、日本、ドイツ、アメリカ政府国務省の支援で視察、経験共有するチャンスをいただけたことに感謝しています。今後もマスコミ機関と協力し、経験共有の機会が与えられると期待しています。
JICA との協力状況	2016～2020年に実施された「ウランバートル市における障害者の社会参加促進プロジェクト」(DPUB)の研修に参加しました。







団体名	障害児親の会
設立年	2000年
住所	ウランバートル市バヤンゴル区第20ホロー、障害児リハビリ発展センター213号室
電話番号	976-70123336, 976-95907012
E-mail	info.apdcmongolia@gmail.com
URL/Facebook	Facebook page: APDC Mongolia , Website: <a href="http://www.apdc.mn">www.apdc.mn</a>
代表者名	S. セレンゲ
活動内容	<p><b>目標:</b></p> <p>障害を持った青少年一人一人を尊重し、権利を十分に行使し、社会生活において自立して積極的な国民になる環境を提供することが目標です。障害児親の会は障害児の保護者の提案で設立され、16の県に支部があり、約4300名の会員がいます。政府からのサービスを質の良いものにするために、保護者が知識と情報を持って参加し、権限を持つために、プログラムを実施しています。</p> <p><b>実施しているプログラム:</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子ども発達センター/幼児に発達支援を行い、余暇時間の発達イベントを開催しています。政府による障害児向けのサービスがない、あるいは不足しているため、障害児の保護者たちが2002年に子ども発達センターを設立しました。子ども発達センターはバヤンウルギー県、バヤンホンゴル県、ダルハンウール県、ドルノド県、オルホン県、ホブド県、フブスグル県にあり、子ども発達特別教室がドルノゴビ県、ヘンティー県にあります。7つの県の子どもの発達センターに、約200名の子どもの向けサービスがあります。</li> <li>2. グリーン手工芸/知的能力が異なる若者たちの就労育成、就労支援の法的環境を作るために活動しています。また、知的能力が異なる若者が就職できることを、社会と雇用主にアピールしています。主に手工芸製品を生産し、販売しています。売り上げはよくないですが、私たちは若者に製品を生産させ、展示販売会に参加し、自分で開催し、生活に喜びを与えるために全国規模で政策提言を行い、活動しています。グリーン手工芸は、ウランバートル市、オルホン県ですでに3~5年になり、15名近くの若者に非正規・正規の職場を提供しています。ドルノド県、ホブド県にも設立予定です。</li> <li>3. 顧問保護者プログラム/法律で与えられたチャンスがすべての障害児に届くように保護者を能力強化し、権限を持たせています。現在5名の法的ガイド（パラリーガル）、50名の顧問保護者を通じ、全国規模で保護者に法的助言を与え、直面している問題を法的に解決するのを援助しています。2021年にオンラインで顧問保護者プログラムを1年間にわたり実施し、21の県、8つの区の100名の子どもの人権、差別・偏見、児童の発達、早期診断、行政サービス改善における保護者の参加などのテーマでオンラインセミナー、情報提供を毎週土曜日に実施しました。障害児の権利を確立する法的アドバイスを保護者に与えることを、顧問保護者プログラム基本目的にし、17回のケース協議を開催し、権利違反の際にどのように法的調査</li> </ol>

	<p>を行い、助言し、仲介するかの方法について研修を行いました。現在 50 名の顧問保護者を育成し、将来それぞれの地元で障害児の保護者の権利を要求し、行政サービスの質を高めるために法的知識を持って参加するのを援助し、自発的に活動できるようにしています。2021 年に保護者向け法律ハンドブックを作成し、出版しました。</p> <p>4. 啓発プログラム /全国及び地方で政策提言啓発活動をしています。法律、規則を作成する作業に保護者を代表して参加し、地方でモニタリングを行うことで、障害者が行政から質の良いサービスを受けるチャンスをつくるのに影響を与えています。障害者権利法改正案に、インクルーシブ新法律の意見を提案し、ワーキングチームが活動しています。これは保護者が法律作成活動に障害児の権利を確立するために参加していることの表れです。また、社会の傾向を変え、ポジティブにするために、「ドアを開けよう」キャンペーンを開催しました。</p>
日本・各国との協力状況	<p>国連人権委員会に子どもと障害児の報告書を送り、協力しています。</p> <p>また、日本の 3 つの NGO と協力しています。パレット NGO 東京、Empowerment Okinawa NPO、NPO さおりひろばネットワーク Inclusion International 国際機関のメンバーです。</p>
JICA との協力状況	<p>2018 年に S. セレンゲ代表が沖縄で JICA の「地域に根差したインクルーシブアプローチによる障害者の社会参加と生計」課題別研修に参加しました。</p> <p>2016～2020 年に JICA 海外協力隊の 2 名の隊員が、子ども発達センターで活動しました。</p> <p>2016～2019 年に草の根技術協力「モンゴル障害児療育・教育支援および療育関係者育成事業」案件で、障害児の保護者を通じて療育を広めることに協力しました。</p>





「僕は学ぶことができる、でもあなたの助けが重要」 「あなたの態度が体の障害よりもつらい」





団体名	ラントーン・ドヒオ
設立年	2013 年
住所	ウランバートル市バヤンゴル区第 23 ホロー、バータルハイルハン通り、2B—1545 号
電話番号	976-7707-6996, 976-94222888, 976-88084470
E-mail	info.mng@lantuundohio.org
URL/Facebook	<a href="http://www.facebook.com/lantuundohio">www.facebook.com/lantuundohio</a> <a href="http://www.facebook.com/idshidiinoron">www.facebook.com/idshidiinoron</a>
代表者名	U. ガンバヤル、O. ウンドラー
活動内容	<p>ラントーン・ドヒオは、2013 年から人身売買、子ども・女性に対する暴力防止等の活動を行い、関連法律を社会に紹介し、段階を踏んだセミナープログラムを作成・開発し、世界中で実施されている暴力反対社会参加活動をモンゴルで実施することを目的とする、非営利の、国連協議権利所有ステータスがある NGO です。</p> <p>私たちは 2017 年から 2020 年に「魔法の国 1」及び「魔法の国 2」子ども保護・発達センターをウランバートル市最多の人口を有し、事件発生率が高いソングノハイルハン区とバヤンズルフ区の郊外ゲル地区地帯に 100%社会の寄付と支援で建設しました。</p> <p>これらのセンターは、暴力の被害者である子どもたちに「子ども保護包括的サービス」を行うだけでなく、郊外のゲル地区に暮らす子どもたちに平等なチャンスを与えるために就学事前教育を行い、図書館、遊び場、緑地公園、全 25 種類のコースを無料で提供しているという特徴があります。</p> <p>上記に述べたすべての活動にアメリカのラントーン・ドヒオ NGO メンバー、及びアメリカ、オーストラリア、ベルギー、イギリスのマンチェスター、韓国、日本などの国々で活動している「魔法のお兄さん、お姉さん」らの恒常的・持続的支援、また約 300 名のボランティアメンバーの寛大な心と努力が最も重要な部分になっています。</p>
日本・各国との協力状況	
JICA との協力状況	





団体名	フルフル・ズルフ
設立年	2012年
住所	ウランバートル市スフバートル区平和大通り第1ホロー、58番棟Y-4号
電話番号	976-70159688, 976-95959688
E-mail	<a href="mailto:huurhunuzrh@gmail.com">huurhunuzrh@gmail.com</a> <a href="mailto:oyundari@btifulhearts.org">oyundari@btifulhearts.org</a>
URL/Facebook	<a href="https://www.facebook.com/btifulhearts">https://www.facebook.com/btifulhearts</a>
代表者名	B. オユンダリ
活動内容	<p>フルフル・ズルフは、子どもに対する性暴力をなくすために、2012年から活動している非政府、非宗教的、非政党、非営利組織です。私たちは、健康で安全な社会のために政策に提言し、人権とジェンダーの平等な権利、ジェンダーに基づく暴力についての国民と社会の理解・知識を高め、啓発し、起こり得る危険を事前回避し、宣伝・広報活動をポジティブな方法で行い、社会の傾向を変える目的のもとにひとつになった若者たちの団体です。</p> <p>フルフル・ズルフには、次の4つの基本プログラムがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 啓発：ジェンダーに基づく暴力を予防し、被害者を保護し、人権に基づいた法的制度を整えるために政策に提言する。</li> <li>✓ サービス：性的暴力に遭った子どもたちに心のケアとリハビリの社会的・メンタルサービスを行う。</li> <li>✓ 予防：子ども、思春期の女子・男子のジェンダーに基づく暴力による問題を予防するために宣伝・広報を行う。</li> <li>✓ 能力強化：被害者の権利保護観察分野の専門家の専門能力、知識、経験を深め、能力強化する。</li> </ul> <p>毎年定期的に行っているキャンペーン活動、イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「ONE BILLION RISING」 女児、女性に対する暴力反対撲滅国際キャンペーン活動</li> <li>✓ 「性暴力防止」 キャンペーン活動（5月）</li> <li>✓ 「PEER CONSULTATION」 被害者と接する専門家らの毎月の会合、イベント</li> <li>✓ 「国際女の子の権利の日」に合わせ、予防キャンペーン活動</li> <li>✓ 「16日間の旅」 ジェンダーに基づく暴力の予防キャンペーン活動</li> <li>✓ 専門家らの能力強化専門セミナー（毎年3日間）</li> <li>✓ 思春期の女子・男子にジェンダーに基づいた暴力防止セミナー</li> </ul> <p>組織の構成は、理事会の7名（57%女性、43%男性）、全28名の常勤職員。活動部署に8名（100%女性、ソーシャルワーカー、心理学士、ジャーナリスト）が常駐しています。</p>
日本・各国との協力状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン・モンゴル事務所</li> <li>✓ 子どもの権利連合メンバー（アジア太平洋）（2018年～）</li> <li>✓ ONE BILLION RISING 国際運動メンバー、モンゴル国コーディネーター（2013年～）</li> <li>✓ FRIDA レディフェミニスト国際機関（2017～2022年）</li> <li>✓ APWLD 国際機関のメンバー</li> <li>✓ With and For Girls</li> </ul>
JICAとの協力状況	



**ADVOCACY PROGRAM:** Advocate for policies and legislation that are based on respect for human rights of women and children, and aim to prevent.



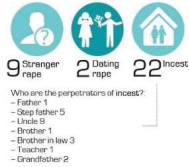
**Online**  
Through the online activities we reached **3,600,000** people

– "PREPARING YOUTH FOR DEMOCRACY IN MONGOLIA" PROJECT – designed to empower young people to participate in decision-making processes through raising their awareness of democratic values, citizen participation, and electoral processes.

- "ONE BILLION RISING" INTERNATIONAL MOVEMENT
- "MOVING GENDER EQUALITY FORWARD THROUGH CIVIL SOCIETY ENGAGEMENT" CAMPAIGN
- "SCHOOL IS NOT A HOSPITAL" CAMPAIGN
- "I PROMISE" CAMPAIGN

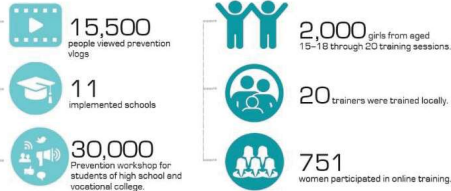
**PSYCHOSOCIAL SERVICE PROGRAM:**

Provision of psychosocial support to strengthen resilience and coping capacity of children and their family affected by sexual violence.



**PUBLIC AWARENESS PROGRAM:**

Increase awareness of gender-based violence in particular violence against women and child sexual abuse to facilitate behavior and attitudinal change, and achieve prevention and early detection of abuse.



**CAPACITY BUILDING PROGRAM:**

Improve the knowledge and skills of professionals who work with survivors of domestic and sexual abuse.




  
[/bifulhearts](https://www.youtube.com/channel/UC...)
  
 976-70159688


Annual report 2020


**"Beautiful Hearts" NGO**  
*Together we can end child sexual abuse!*


I promise,

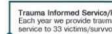



**BEAUTIFUL HEARTS' ACTIVITY IN 2020**

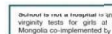
- 


European Union  
Swiss development agency  
51,383\$
- 


One Billion Rising 2020 - Our Voice  
On International Women's Day, 8th of March for ending all forms of gender based violence and raising public awareness, attention, and prevention of recognizing the causes and effects of gender-based violence and victim blaming at national level as well as regional and international level in solidarity.
- 


The Asia Foundation Mongolia  
10,569\$
- 


Trauma Informed Service/Psychosocial service  
Each year we provide trauma-informed service to 33 victims/survivors of sexual violence.
- 


FRIDA Young Feminist Fund  
17,500\$
- 

Without us not a movement is an advocacy campaign to uplift girls at secondary schools in Mongolia co-implemented by Phocess center.
- 

Open society foundations  
7,800\$
- 

Mongolian Women's Fund  
Embassy of Canada  
4,000\$
- 

Strong Girls - Strong Nation is an interactive smart device application and animation aimed at preventing child sexual abuse that we designed and had developed. The Strong Girls app and 2 animation is designed for ages 3 to 18 years and covers topics such as internet, safety at school and in public places.
- 

Canada Fund  
7,000\$
- 

Providing legal knowledge on the prevention of domestic violence  
The aim is to provide legal women with relevant legislation and necessary information on domestic violence as a paralegal.

団体名	セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン・モンゴル事務所
設立年	2009年
住所	ウランバートル市チンゲルテイ区第1ホロー、アリゾナセンター内
電話番号	976-11-329365,976-11-329371
E-mail	mongolia.secretary@savethechildren.org
URL/Facebook	Save the children in Mongolia
代表者名	L. バヤンアルタイ
活動内容	<p>セーブ・ザ・チルドレンは教育、子ども保護、子どもの権利ガバナンス、子どもの貧困解消、人道的プログラム、保健などの分野で、次の案件を実施しています。</p> <p><b>1. 案件名: “モンゴルのすべての子どもに平等な教育を”</b>  期間: 2021年4月～2024年4月  融資者: 日本国外務省  目標、目的: ウランバートル市のバヤンズルフ区、チンゲルテイ区、ソングノハイラン区、ウブスハンガイ県、ホブド県の対象校の小中学生が教育を平等に受けられるよう支援する。  対象者: 対象校の5～9年生の生徒、保護者、対象校の教師、地域の教育機関関係者</p> <p><b>2. 案件名: “地方の思春期の子どもたちに個人能力、起業家教育を与える”</b>  案件期間: 4年間 (2019～2023年)  予算: 270万USD  融資者: 世界銀行を通じて日本社会発展基金  目標、目的: 思春期の青少年に個人の能力、起業家教育を与えるために、学習成果を改善し、将来就労する際の準備を目的とする。  対象者: 失業率が高いモンゴルの西部、東部、中央部及びハンガイ地域の代表になるホブド県、サブハン県、ウブスハンガイ県、ゴビスベル県、スフバートル県の25の郡の14～24歳の貧困層で学校に通っていない、失業に陥るリスクのある6,000名の思春期の若者と、郡の20,000名の住民</p> <p><b>3. 案件名: “民主主義のための新時代”</b>  期間: 2020年3月～2022年2月  予算: 176,000USD  融資者: 国連民主主義支援基金  対象者: 同案件は民主主義の価値、国民参加、選挙過程についての青少年の教育向上のために、民主主義ガバナンスを現在と未来の有権者の知識と行動を通じて強化することが目的です。案件では民主主義統治、国民参加について教える国民教育、社会知識の授業学習カリキュラムの内容、教授法を調査し、民主主義についての理解について思春期世代、若者に調査を行います。</p> <p><b>4. 案件名: “女の子を暴力・搾取から保護する”</b>  期間: 2021～2024年 (3年間)  融資者: 国連信託基金  目標、目的: ウランバートル市の社会的、経済的水準が低い5つの区の12～18歳</p>

	<p>の女の子を、新型コロナウイルス感染拡大により悪化した暴力、搾取に遭うリスクから保健、子ども保護、教育サービスを通じて保護する。地方の子ども保護専門家が新型コロナウイルス感染拡大により悪化した暴力、性暴力、人身売買の犯罪被害者の12～18歳の女の子がサービスを受けられるようにする。</p> <p>対象者:家族子ども若者開発委員会の専門家、専門家チームメンバー、警察庁の子ども担当、非常事態局の専門家、学校幹部、教師、家庭病院医、区の精神科医、心理学者、保護施設、家族子ども若者開発委員会、区の警察、NGOの心理カウンセラー、ソーシャルワーカー、12～18歳の女の子、義務教育学校の生徒</p> <p>5. 案件名: “デナン”</p> <p>期間: 2021年</p> <p>融資者: アメリカのデナンプロジェクト</p> <p>目標、目的: 地方の保健センター事業を支援し、能力向上、保健援助サービスを改善する。</p> <p>対象者: アルハンガイ県のエルデネマンダル郡、タリアト郡の総合病院でサービスを受けている郡及び周辺郡の住民</p> <p>6. 案件名: “モンゴルにおける透明性、社会参加を増やすために社会の責任を強化する” MASAM II 案件</p> <p>期間: 2021～2023年</p> <p>融資者: スウェーデン開発庁、世界銀行</p> <p>目標、目的: 主な分野で案件の資金をより効果的に利用するためにモンゴルの21の県、ウランバートル市で行政サービスを届ける、投資を改善するために社会の責任を高める能力を強化し、技術援助を提供する。</p> <p>対象者: バヤンゴル区、チンゲルテイ区、スフバートル区、ゴビスンベル県、ドンドゴビ県、ドルノゴビ県、ドルノド県、ヘンティー県、スフバートル県、ウムヌゴビ県</p>
日本・各国との協力状況	日本の外務省、日本社会開発基金、JICAなどと協力しています。
JICAとの協力状況	<p>案件名: モンゴルにおける子どもの権利・保護法成立後の要保護児童支援制度定着化支援事業, 2018-2022</p> <p>目的: 子どもの権利法・保護法およびDV撲滅法が成立・改正されたモンゴルにおいて、すべての子どもがあらゆる暴力から守られる権利を実現するため、要保護児童支援制度がモンゴル政府によって強化され、かつ持続的に運営される。</p> <p>融資者: JICA</p> <p>案件目標: 要保護児童支援制度を担う政府機関（多職種専門家チーム、家族子ども若者開発庁、省）の人材の能力と体制が強化される。</p> <p>直接受益者: 対象地域の128名の多職種専門家チームメンバー及び子ども保護権利を提供する義務がある全ての120名の公務員、選ばれた対象の郡、バグ、ホローの1065名の両親と養育者、160名の子ども</p> <p>間接的受益者: 50,000名の両親と養育者、10,600名の地方住民、44,225名の子どもたち</p>







団体名	暴力反対国家センター
設立年	1995 年
住所	ウランバートル市チンゲルテイ区バガトイロー、4 棟ビル 03 号室
電話番号	70119949
E-mail	mongolcav@gmail.com
URL/Facebook	Хүчирхийллийн Эсрэг Үндэсний Төв ТББ / National Center Against Violence NGO
代表者名	N. アルビンタリア
活動内容	<p>ジェンダーに基づく暴力、中でも家庭内暴力及び性暴力被害者に法的アドバイス、信頼できる電話サービス、一時保護施設サービスを早急に行っています。設立以来 26 年間、継続して活動し、家庭内暴力及び性暴力被害者約 22,000 名の女の子、女性を支援してきました。暴力反対国家センターは、家庭内暴力反対センターと法的義務を負った専門家の能力を強化し、社会の理解と知識を高め、政策への提言を合わせて行っています。</p> <p>2004 年に家庭内暴力反対の初めての法律がモンゴルにおいて承認されるための活動に、率先的に参加しました。またこの法律の施行を改善する目的でモニタリングを行い、2016 年に家庭内暴力反対法の改正を国会で承認させることができました。モンゴルで初めて家庭内暴力を犯罪と定め、刑法、違反法に盛り込みました。その他、法律に家庭内暴力の被害者保護に関連する調整を盛り込み、家庭内暴力に反対する合法的環境を整えることができました。</p> <p>暴力反対国家センターは、家庭内暴力撲反対法の施行に、毎年部分的モニタリングを行い、結果、助言を行政機関に提出しています。</p>
日本・各国との協力状況	<p>日本政府の「草の根安全保障」案件で、暴力反対国家センターバヤンホンゴル県支部に「家庭内暴力被害者保護施設」を 2016 年 10 月 8 日に開設しました。現在まで継続的に活動を行っています。</p> <p>暴力反対国家センターは世界の保護施設ネットワーク、アジアの保護施設ネットワーク、FORUM ASIA、ISS、APWLD の加盟機関です。</p>
JICA との協力状況	



バヤンホンゴル県の「家庭内暴力被害者保護施設」の開所式（2016年10月8日）

団体名	ボルタグシニィ・ボドル
設立年	2019年
住所	アルハンガイ県エルデネボルガン郡第4バグ
電話番号	976-99339590,976-94339590
E-mail	bor.tagsh@yahoo.com
URL/Facebook	Бор тагшны бодол
代表者名	A. ドゥルグーン、Ch. ウランツェツェグ
活動内容	<p>ボルタグシニィ・ボドルは非営利、如何なる政党、政治的力、宗教に属さないNGOです。社会の第一単位で、人間の発達の基礎となる家族及び家族のメンバー、特に子ども、女性の発展、保護、教育、保健分野の発展と持続性を支援するセミナー、啓発活動を行うために、家族と社会の発展に実践的貢献をするのが目標です。</p> <p>目標のために下記の活動を行っています。</p> <p>A.自己開発、健康、教育、ファイナンス、裁縫、外国語、料理の職業訓練</p> <p>B.心理的及び法的アドバイス、援助</p> <p>C. 社会に向けた活動、福祉活動を行っている政府及び非政府、国際機関の職員に研修を行う</p> <p>D.人権保護、人権侵害防止研修、啓発活動</p> <p>E.権利侵害後に保護対応サービスを行う</p> <p>F.人間開発、保護支援の人道活動を開催する</p> <p>G.健康、教育、開発、保護についての学術研究、調査活動を行い、調査結果を出す</p> <p>H.ボランティア活動を主催し、経験共有する。</p> <p>I.観光</p> <p>J.生徒間交流</p>
日本・各国との協力状況	
JICAとの協力状況	JICA「モンゴルにおける子どもの権利・保護法成立後の要保護児童支援制度定着化支援事業」フェーズ1、2でセーブ・ザ・チルドレン・ジャパンと一緒にポジティブ・ディシプリンの啓発、普及、実施の活動を行っています。





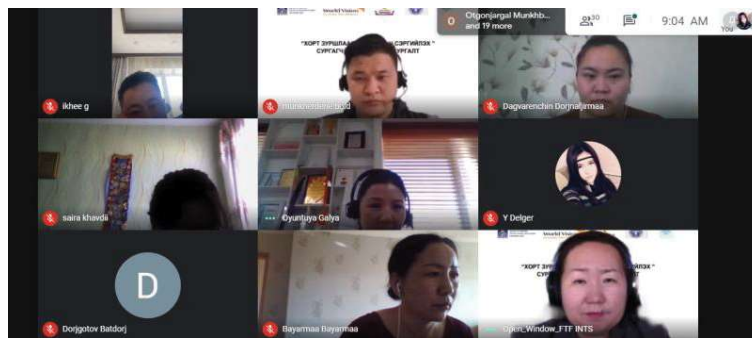






団体名	Open window of future
設立年	2018 年
住所	ウランバートル市バヤンゴル区第 13 ホロー、ダコビジネスセンター802 号室
電話番号	976-99878556
E-mail	openwindowftf@gmail.com batkhishig@f-openwindow.mn
URL/Facebook	
代表者名	A. パトヒシグ
活動内容	<p>Open window of future は、設立者たちが青少年、家族の発達、保護の分野で約 20 年間活動してきた国内外の経験に基づき、2018 年 8 月に NGO として設立しました。</p> <p>Open window of future は確証に基づいた知識、調査に依拠し、青少年、家族の発達、保護を支援し、権利を保護し、能力強化に貢献することを目的としています。私たちは平等な参加、安全、人権、違いを尊重する原則を固守しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 子どもの発達、参加</li> <li>• 児童保護</li> <li>• 思春期の若者の発達、参加</li> <li>• 家族教育、発展</li> <li>• 対象とする青少年の発達、保護</li> </ul> <p>Open window of future の対象者に向けた活動として障害、貧困、差別・偏見に遭った人々、家族向けに活動を行っています。</p>
日本・各国との協力状況	<p>2018 年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 国連児童基金、教育文化科学省の依頼で、義務教育学校における子ども保護政策の原本作成に顧問サービス</li> <li>• World Vison 国際機関の依頼で、バヤンゴル区の 5 つの学校、3 つの幼稚園のすべての教職員向けに子ども保護研修</li> </ul> <p>2019 年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• アジア開発銀行の支援で行われた Universal Progress センター、公共建築 NGO と共同で、公共交通サービス改善使用評価</li> <li>• アジア開発基金、労働社会保障省、グリーン・イニシアティブ NGO の家族青少年分野の職員能力強化案件に参加し、調査評価、人事戦略、ハンドブック作成</li> </ul> <p>2020 年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 国連児童基金、労働社会保障省の社会サービス人材能力強化プロジェクトで行われた子ども保護における直接実践スタンダードプロジェクト、専門的管理試験プロジェクト作成に顧問サービス</li> </ul> <p>2021 年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 国連児童基金、家族青少年開発庁の依頼で、108 支援電話アドバイザーカード作成に顧問サービス</li> <li>• World Vision のダルハンウール県のプログラムの依頼で「悪習慣の予防」トレーナー育成研修</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国連児童基金、労働社会保障省の支援で、子ども保護サービスを行う法人を認証する新規規則案作成に顧問サービス</li> <li>・ 国連児童基金、労働社会保障省の支援で、子ども保護法の改正、新規編集、ソーシャルワーカーの道徳法の初期案作成に顧問サービス</li> </ul>
JICA との協力状況	JICA の「モンゴルにおける子どもの権利・保護法成立後の要保護児童支援制度定着化支援事業」で 2018 年に多職種専門家チームのソーシャルワーカー向けにハンドブック作成、2019 年にケースマネジメントのトレーナー育成研修参加、ファシリテーター研修に参加し、バヤンズルフ区第 16 ホローの若い保護者向けにファシリテーターとして 8 回のセミナーを行いました。



2021 年 4 月に開催された World Vision のダルハンウール県支局の依頼で行った「悪習慣予防」 トレーナー育成オンラインセミナーの様子



JICA とセーブ・ザ・チルドレン・ジャパンで開催したケースマネジメントのトレーナー育成研修を行う A.バトヒシグ代表



ウランバートル市の家族青少年開発庁の融資で家族支援実験プログラム評価の際に、家族のメンバー、家族支援活動機関の代表とのミーティング

団体名	ナル・サル・オユー
設立年	2013 年
住所	アルハンガイ県エルデネボルガン郡
電話番号	976-96969644, 976-85156023
E-mail	<a href="mailto:nrentsendorj2@gmail.com">nrentsendorj2@gmail.com</a> , <a href="mailto:damba_avraa@yahoo.com">damba_avraa@yahoo.com</a>
URL/Facebook	Avarzad Avraa, Рэнцэндорж Нарантуяа
代表者名	D. アウルザド、R. ナラントヤ
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>ナル・サル・オユーは、住民と障害者の教育を向上させるために貢献し、プログラムを実施し、子どもをリスクから予防する研修、セミナー、会合、面接を開催する活動基本方針で活動しています。アルハンガイ県で研修や会合を開催し、必要な住民に社会的・心理的支援を行っています。</li> <li>2018 年からアルハンガイ県で子ども保護、予防、リハビリ分野で多職種専門家チームメンバーを能力強化し、協力しています。</li> </ul>
日本・各国との協力状況	スイス開発庁の融資により、国際移住機関の支援で「移住者を私たちは助ける」プロジェクトを 6 か月間実施し、移住してきた住民に社会的・心理的支援を行ってきました。
JICA との協力状況	アルハンガイ県で JICA が行っている「モンゴルにおける子どもの権利・保護法成立後の要保護児童支援制度定着化支援事業」案件で、職員が「多職種専門家チーム能力強化」「ポジティブ・ディシプリン」研修のトレーナーとして育成されました。アルハンガイ県の家族青少年開発局と共同で、子ども保護の多種職専門家チームの能力強化研修を共同開催しています。

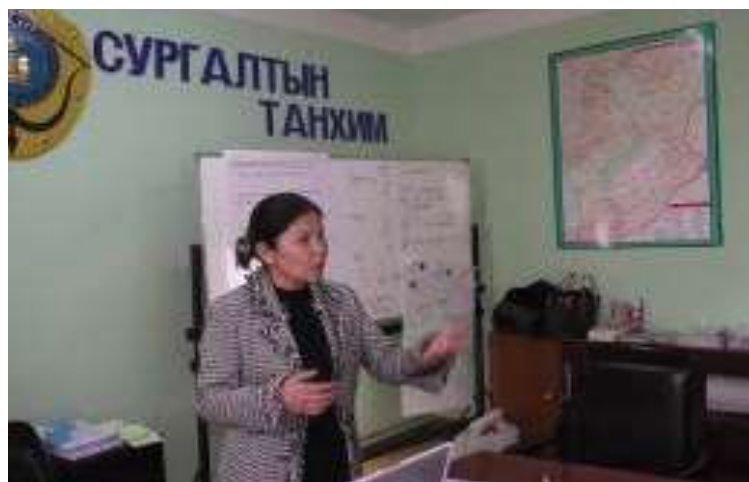


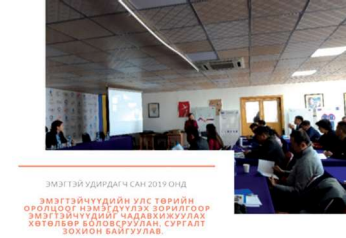
多職種専門家チームの能力強化




研修の様子

団体名	ウーマン・リーダー・ファウンデーション
設立年	2000年
住所	ウランバートル市スフバートル区平和大通り UBH Center7—718
電話番号	976-99099143; 976-99183611
E-mail	<a href="mailto:womanleaderfound@gmail.com">womanleaderfound@gmail.com</a>
URL/Facebook	Эмэгтэй удирдагч сан (Women Leader foundation)
代表者名	Kh. ボルガン、M. ボロルマー
活動内容	<p>ウーマン・リーダー・ファウンデーションは、2000年に設立されました。</p> <p><b>ビジョン</b></p> <p>ウーマン・リーダー・ファウンデーションは、社会に民主主義、正義、透明性、良いガバナンスを社会で発展させるのに女性の参加を増やし、ジェンダーの平等を確立し、女性の人権保護に貢献することをビジョンにしています。</p> <p><b>目的</b></p> <p>ウーマン・リーダー・ファウンデーションは、ジェンダーの平等を確立し、女性の人権を保護し、政治と決定機関における女性の参加と優等的立場を増やし、良いガバナンスを開発するのに女性の能力向上を目的としています。</p> <p><b>原則</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 女性が社会を変えるのに参加する機会をつくる</li> <li>• 政治に新しい評価、価値、傾向を開発する</li> <li>• 良いガバナンスの見本となる</li> <li>• 透明性がありオープンで、正義感があり、道理的であること</li> <li>• 社会参加、多様な見解を重視する</li> <li>• 社会に声を届け、啓発する</li> <li>• オープンな協力、パートナーシップを発展させる</li> <li>• ジェンダーの平等性を確立する</li> </ul> <p><b>目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ジェンダー主義、ジェンダー政策、プログラム作成、実施に政策提言し、モニタリング、評価を行い、提言書を作成する</li> <li>• 女性の参加を増やすために、女性の能力を国家及び地域レベルで、すべての分野において改善する</li> <li>• ジェンダーに基づく暴力反対、特に職場のセクハラ、人身売買の防止、啓発</li> </ul> <p><b>活動形態</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 啓発</li> <li>• 研修開催</li> <li>• ジェンダー評価、アドバイス</li> <li>• 調査</li> </ul> <p>2021～2023年の活動方針</p>

	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 女性の優等的立場、決定機関レベルにおける参加を増やすために、2000年からプロジェクトを実施しています。</li> <li>2. 女性の権利保護、特に職場におけるセクハラを撲滅するために、2002年から現在まで活動しています。</li> <li>3. 気候変動と女性、ジェンダー分野で2017年から低所得者層の女性、子どもたち、家庭病院、県、地方に住む女性、国民議会と協力し、プロジェクトを実施しています。</li> <li>4. フェミニスト運動を拡大し、女性の権利保護分野で、若者世代を育成する活動を行っています。</li> <li>5. ジェンダー政策プログラムを作成する際のジェンダー調査を行う経験があり、また政策作成、決定機関レベルに政策提言活動を行っています。</li> </ol>
日本・各国との協力状況	<p>ウーマン・リーダー・ファウンデーションは設立以来、アジア基金、世界銀行、オープンフォーラム、国連開発計画、Mama Cash、Global Women's fund、Canada fundの支援で、プロジェクトを実施すると共に、Information center for Women's Education in Japanから関連季刊誌を受け取っています。</p> <p>2004年に在モンゴル日本国大使館の草の根・人間の安全保障無償資金協力案件で、シングルマザー向けに雇用を作り、小さい産業を興し、ウランバートル市とボルガン県に研修センターを設立しました。</p>
JICAとの協力状況	





団体名	思春期世代の発達センター	 <b>ӨСВӨР ҮЕИЙНХНИЙ ХӨГЖЛИЙН ТӨВ ТВБ</b>
設立年	2005 年	
住所	ウランバートル市スフバートル区第 6 ホロー、バガトイロー、ノゴーンウルランタ ウン 73—1 ビル	
電話番号	976-11-324333、976-99028922	
E-mail	enkhtuya@adc.org.mn	
URL/Facebook	Өсвөр Үеийнхний Хөгжлийн Төв/ADC	
代表者名	D. エンフトヤ	
活動内容	<p><b>目的:</b> 子どもや思春期の若者たち（12～22 歳）の発達、保護、社会参加の分野で国内外の NGO、国際機関、政府機関と積極的に協力し、新規プロジェクトを地方のチーム、ボランティアと共に開催し、効果的に実施することが私たちの目的です。</p> <p><b>活動分野:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> リスク下にある子どもや思春期の若者たちの権利、義務、参加、生活の知恵・知識能力を高める様々な研修方法を作成し、実施し、社会で自立した正しい人間になることを手伝う。</li> <li><input type="checkbox"/> 青少年の将来の専門選択に役立つ助言・情報を与える。</li> <li><input type="checkbox"/> 子ども、家族との活動に興味がある地方の生徒、ボランティアを支援し、能力強化し、参加を増やす。</li> <li><input type="checkbox"/> 子どもに対する暴力、人身売買や売春を防止する協力活動強化に貢献する。</li> </ul> <p><b>協力機関:</b></p> <p> モンゴルボランティア団体（2005 年～）</p> <p> 子どもの労働反対国家ネットワーク（2008 年～）</p> <p> すべての教育のために国家連合（2005 年～）</p> <p> 人身売買防止 NGO 国家ネットワーク（2008 年～）</p> <p> 子どもの権利フォーラム（2019 年～）</p>	

<p>日本・各国との協力状況</p>	<div data-bbox="593 443 683 595" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="703 439 1300 501">ECPAT - / End Child Prostitution Child Pornography and Trafficking of Children for Sexual Purposes/</p> <p data-bbox="703 555 1300 658">子どもをすべての性的搾取、人身売買から守る国際ネットワーク機関加盟、モンゴルにおけるコーディネーター機関として2005年から活動しています。</p> <ul data-bbox="584 674 1300 1016" style="list-style-type: none"> <li data-bbox="584 674 1300 777">• 2014～2020年に国際移住機関（IOM）と共同で、モンゴル国内で移住した家族と青少年の権利を保護し、知識情報を広め、地方行政機関、人々と協力するプロジェクトを実施しました。</li> <li data-bbox="847 792 1300 1016">• 2012～2020年にカナダのドゥフレスネ・ゴッテリー基金の支援で、思春期の低所得者層の女子を性的搾取や人身売買から保護する「ドリーム・キー」プロジェクトを実施し、毎年25～30名の女子をリスクから保護し、将来の正しい生活のために準備させるプロジェクトを実施してきました。</li> </ul> <div data-bbox="549 797 833 974" data-label="Image"> </div>
<p>JICA との協力状況</p>	





人権についての知識を持ち、違いを尊重し、ジェンダーについて理解するガールスカウト「虹の戦士たち」



団体名	女性、子ども開発センター
設立年	2003 年
住所	ウランバートル市チンゲルテイ区第 2 ホロー、イフトイロー15、1 レンタロン 422 号室
電話番号	976-94443347
E-mail	wcdc.mn@gmail.com
URL/Facebook	<a href="https://www.facebook.com/wcdc.mn">https://www.facebook.com/wcdc.mn</a>
代表者名	ブレンジャルガル
活動内容	シングルマザー、低所得者層の女性とその子どもたち、孤児の教育、健康を支援し、生活の知恵を与え、研修を開催しています。
日本・各国との協力状況	グローバルファウンデーションの支援で HIV、結核プロジェクトを 2012 年に実施しました。
JICA との協力状況	

団体名	リベラルウーマン知識基金 NGO
設立年	1992 年
住所	ウランバートル市スフバートル区第 8 ホロー、GB センター3 階 302 号室
電話番号	976-77007999、976-99992552、976-95099699
E-mail	info@leos.mn
URL/Facebook	Либерал эмэгтэйчүүдийн оюуны сан
代表者名	Ts. ブジドマー、G. デルゲルスレン
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>リベラルウーマン知識基金は 1992 年に設立され、21 の県に支部を持つ全国規模の NGO です。</li> <li>モンゴルにおける男女平等、社会のすべての分野で女性が能力、経験を活かして参加できる社会の正当な制度を整えるのに、会員を通じて貢献することを団体の目的にしてきました。</li> <li>女性の優等性、政治参加、有権者教育の分野で活動し、人権、自由、社会の平等、管理職における女性の参加を増やすために研修、調査、啓発活動を行っています。</li> <li>設立以来、管理職の女性数を増やし、国民社会団体の能力強化分野で、継続的に 29 年目の活動を行っています。</li> <li>モンゴルにおける住民社会参加に大きな影響を与える女性たちの NGO を設立するのに、リベラルウーマン知識基金の貢献が不可欠で、リベラルウーマン知識基金から全 36 の団体が支部として誕生し、活動を行っています。</li> <li>リベラルウーマン知識基金は設立以来、政治の男女平等、女性の経済能力向上、決定機関に住民参加を増やす、行政機関の活動、予算、資金、調達過程の透明性を確保するために国民への情報開示を求め、国民社会団体の能力強化のための多くの案件プログラムを実施してきました。</li> </ul>
日本・各国との協力状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>1994 年に日本と東アジアの女性たちの初フォーラムに、当団体の 5 名の代表団がモンゴルを代表し参加しました。</li> <li>2002 年にさいたま市で行われたアジア女性フォーラムにモンゴルの女性 NGO を代表し、当団体から 2 名の代表が参加しました。</li> <li>2013～2015 年に国連女性、ジェンダー平等基金の支援で「国家の発展に女性の優越性」プログラムを実施し、650 名の立候補女性を育成し、有権者教育支援、啓発活動で約 8,000 名と活動しました。</li> <li>2016～2019 年にカナダ政府、アジア基金の支援で「賄賂のない社会のために国民監査」プログラムを実施し、地方予算資金の調整、行政の購入事業の 80 近くの問題を選びモニタリングを行い、助言を提出しました。</li> <li>2020 年にアメリカの開発実施庁、広報担当の支援で「若者、女性の政治、選挙参加強化」案件を実施し、21 の県で 5,000 名近くの若者、女性を対象に活動しました。</li> <li>2020～2022 年に国連開発計画の支援で、モンゴル国政府顧問が実施している「モンゴルにおける専門的、国民中心の政治形成」案件で「政府の</li> </ul>

	<p>ジェンダー平等」案件を実施しています。この案件で「女性の優越性の総合的プログラム」を作成・実施し、将来行政分野で実施するために、行政顧問の2021年5月11日閣議で承認されました。</p> <p>行政におけるジェンダーの平等を確立し、管理職で働いている女性公務員のキャリア開発を支援する目的のこのプログラムは、リーダーシップ研修、メンタープログラム、コーチング研修といった3つの構成で、参加者を3か月間研修に参加させ、知識と経験を積み、成功している行政社会のお手本と新時代のリベラリストから学ぶチャンスをつくり、コーチングの方法を学ばせています。この総合的プログラムに2020年に5名、2021年9、10、11月に3グループ総勢71名の女性公務員が参加しました。</p>
JICA との協力状況	



Canada



LIBERAL ЭМЭГТЭЙЧҮҮДИЙН ОЮУНЫ САН

7700 7999

www.leos.mn





団体名	モンゴル女性労働支協会 NGO
設立年	2014 年
住所	ウランバートル市第 1 ホロー平和大通り 35、UBH center7 階 701 号室
電話番号	976-70137083, 976-88683128
E-mail	<a href="mailto:Mwesf1@gmail.com">Mwesf1@gmail.com</a>
URL/Facebook	<a href="http://www.facebook.com/Монголын-Эмэгтэйчүүдийн-Хөдөлмөрийг-Дэмжих-Холбоо-793447314190280">www.facebook.com/Монголын-Эмэгтэйчүүдийн-Хөдөлмөрийг-Дэмжих-Холбоо-793447314190280</a>
代表者名	Shi. アリウナー
活動内容	<p>モンゴル女性労働支援協会は 2014 年に設立され、女性が就労し、収入を得るのに如何なる暴力や圧力も受けずに、政治、社会、文化、社会の権利を完全に有することができるという見解の上で、自発的に集まった、非営利、非政党の非政府組織です。</p> <p>私たちは女性の能力強化、女性の労働、経済活動への参加を増やし、政策決定者に啓発するために研修、調査、政策提言活動を行い、ウブスハンガイ県、フブスグル県に支部を置き、活動しています。</p>
日本・各国との協力状況	
JICA との協力状況	





## MONGOLIAN WOMEN'S EMPLOYMENT SUPPORT FEDERATION NON PROFIT, NON POLITICAL PARTY, NON GOVERNMENT ORGANIZATION

### BRIEF INTRODUCTION

#### Our beliefs:

Girls and women can be free from violence and enjoy social, cultural, political and economic rights as long as they can work and earn their own income.

#### Our mission:

Promote Mongolian women's employment and uphold economic benefits

#### The principle:

Implement the principle of corporate governance. Open and transparent. Participation is ensured and decided by majority vote. Based on voluntary membership.

### GENERAL INFO ABOUT OUR ACTION

#### in 2014:

Five women were created on the initiative to work for the realization of women's labor rights.

A report on the subject of "Discrimination" was prepared in the Human Rights Status Report to the UN Human Rights Committee, supported by the Open Society Forum.

Nine delegates participated in the Global Summit of Women in Paris, France.

#### In 2015:

We organized the National Summit on Employment and Women's Rights, outlining the current need for women to have a child by raising children. Women have also been offered suggestions on labor law and the Family Law, which are being amended by state policy to address this need. Workshop on Sexual Abuse of the Workplace (IAF) has begun.

#### In 2016:

With the support of MONES, we continued the training and awareness-raising programs for citizens, students. Advisory work is done on the Open Government Partnership plan with the support of the Asian Development Bank. We lead policy awareness project about "The impact of the 5 package law reforms" with the support of the Open Society Forum. 11 delegates participated in the Global Summit of Women in Tokyo, Japan.



We organized the Employment and Women's Rights Forum was held at the Government House in March 2015 and was attended by more than 800 women.



Each season we organized "Early bird" meeting and discussion women's issues with members.



Every year we participate and co-organized international Human Rights day to promote women's labor rights.

АМЬН БИЙНЭЭС ДЭМЖИЙН ХӨДӨЛМӨРИЙГ ДЭМЖИХ ХОЛБОО	
УРЬДСЫН СОРГИЙЛОХ ЗЭВЛЭМЖ 1	
АЖЛАА ГЭЖ ӨГӨӨ ВЭЭ	АЖЛЫН ХАМГААГАЛ
1. Ажлын үндэсний төлөв	2. Ажлын үндэсний төлөв
3. Ажлын үндэсний төлөв	4. Ажлын үндэсний төлөв
5. Ажлын үндэсний төлөв	6. Ажлын үндэсний төлөв
7. Ажлын үндэсний төлөв	8. Ажлын үндэсний төлөв
9. Ажлын үндэсний төлөв	10. Ажлын үндэсний төлөв
11. Ажлын үндэсний төлөв	12. Ажлын үндэсний төлөв
13. Ажлын үндэсний төлөв	14. Ажлын үндэсний төлөв
15. Ажлын үндэсний төлөв	16. Ажлын үндэсний төлөв
17. Ажлын үндэсний төлөв	18. Ажлын үндэсний төлөв
19. Ажлын үндэсний төлөв	20. Ажлын үндэсний төлөв
21. Ажлын үндэсний төлөв	22. Ажлын үндэсний төлөв
23. Ажлын үндэсний төлөв	24. Ажлын үндэсний төлөв
25. Ажлын үндэсний төлөв	26. Ажлын үндэсний төлөв
27. Ажлын үндэсний төлөв	28. Ажлын үндэсний төлөв
29. Ажлын үндэсний төлөв	30. Ажлын үндэсний төлөв
31. Ажлын үндэсний төлөв	32. Ажлын үндэсний төлөв
33. Ажлын үндэсний төлөв	34. Ажлын үндэсний төлөв
35. Ажлын үндэсний төлөв	36. Ажлын үндэсний төлөв
37. Ажлын үндэсний төлөв	38. Ажлын үндэсний төлөв
39. Ажлын үндэсний төлөв	40. Ажлын үндэсний төлөв
41. Ажлын үндэсний төлөв	42. Ажлын үндэсний төлөв
43. Ажлын үндэсний төлөв	44. Ажлын үндэсний төлөв
45. Ажлын үндэсний төлөв	46. Ажлын үндэсний төлөв
47. Ажлын үндэсний төлөв	48. Ажлын үндэсний төлөв
49. Ажлын үндэсний төлөв	50. Ажлын үндэсний төлөв
51. Ажлын үндэсний төлөв	52. Ажлын үндэсний төлөв
53. Ажлын үндэсний төлөв	54. Ажлын үндэсний төлөв
55. Ажлын үндэсний төлөв	56. Ажлын үндэсний төлөв
57. Ажлын үндэсний төлөв	58. Ажлын үндэсний төлөв
59. Ажлын үндэсний төлөв	60. Ажлын үндэсний төлөв
61. Ажлын үндэсний төлөв	62. Ажлын үндэсний төлөв
63. Ажлын үндэсний төлөв	64. Ажлын үндэсний төлөв
65. Ажлын үндэсний төлөв	66. Ажлын үндэсний төлөв
67. Ажлын үндэсний төлөв	68. Ажлын үндэсний төлөв
69. Ажлын үндэсний төлөв	70. Ажлын үндэсний төлөв
71. Ажлын үндэсний төлөв	72. Ажлын үндэсний төлөв
73. Ажлын үндэсний төлөв	74. Ажлын үндэсний төлөв
75. Ажлын үндэсний төлөв	76. Ажлын үндэсний төлөв
77. Ажлын үндэсний төлөв	78. Ажлын үндэсний төлөв
79. Ажлын үндэсний төлөв	80. Ажлын үндэсний төлөв
81. Ажлын үндэсний төлөв	82. Ажлын үндэсний төлөв
83. Ажлын үндэсний төлөв	84. Ажлын үндэсний төлөв
85. Ажлын үндэсний төлөв	86. Ажлын үндэсний төлөв
87. Ажлын үндэсний төлөв	88. Ажлын үндэсний төлөв
89. Ажлын үндэсний төлөв	90. Ажлын үндэсний төлөв
91. Ажлын үндэсний төлөв	92. Ажлын үндэсний төлөв
93. Ажлын үндэсний төлөв	94. Ажлын үндэсний төлөв
95. Ажлын үндэсний төлөв	96. Ажлын үндэсний төлөв
97. Ажлын үндэсний төлөв	98. Ажлын үндэсний төлөв
99. Ажлын үндэсний төлөв	100. Ажлын үндэсний төлөв

We created some Recommendations on how to prevent sexual harassment at work for the public.



We have been attending the Global Women's Summit since 2014. It is a travel program aimed at learning from the best women in the world and developing your business.



Утас: +976 70137083, +976 99895070 и-мэйл: mwes1@gmail.com  
пэйж, page name: Монголын эмэгтэйчүүдийн хөдөлмөрийг дэмжих холбоо

# MONGOLIAN WOMEN'S EMPLOYMENT SUPPORT FEDERATION

NON PROFIT, NON POLITICAL PARTY, NON GOVERNMENT ORGANIZATION

## In 2017:

With the support of the Open society forum, we had been implementation of the "Administrative law" was monitored and evaluated by the SMD and SRL of the Chingeltei district.

With the support of the MONES, the project entitled "Chance for change I&II" has been implemented with the participation of women and citizen's working on the rubbish dump.

9 delegations was participated the global Summit women, and participated a the tour in Tokyo, Japan.

## In 2018:

with the support of the International Chanel Fund and the MONES, awareness-raising, and outreach activities project has been to make policy advocacy to the NHRC and the female Parliament Members. The project's objective is to put protect issues in the reupdating Labor law to legislate against sexual harassment in work and establish responsibility for the Violation law.

We did "Vulnerable group's human rights" project is being implemented to sent UN Human Rights Council. We organized the group discussions with the government body about the Girls, women's rights information.

Six delegates participated in the Global summit of Women in Sydney, Australia.

## In 2019:

With the support of the Mongolian Human Right's Forum we prepared Vulnerable group rights report and presented in Bayankhongor, Uvurkhangai, Gobisumber, Dornogobi and Bayan-Ulgii province's citizen and presented to Government agencies and they defended their Human Rights Report. All meeting was organized about more than 300 people.

We sent the report to the UN Human Right's Council for UNIVERSAL PERIODIC REVIEW.

Another program was the Sustainable Development goals NGO report. We prepared and discussed with NGO partners SDG8 decent work for women. In this program, we organized more than 10 meetings with NGOs and government bodies. We successfully report and published the report and sent it to the UN with the NGO network of SDG.

## STRATEGIC GOAL FOR 2020-2022

MWESF aims to promote knowledge about girl's and women's labor rights and economic participation and environmental justice. To reflect in policy decisions, improve women's labor rights and to monitor their implementation.

The strategic goal will be implemented through the following 2 main programs:

1. Women's rights protection and advocacy program.
2. Program to strengthen women's movements for social, economic and

### Activity area

PROMOTE women's labor rights

Deliver information to prevent violation and sexual harassment at work

### action formats

training, research, monitorings, informations

online, offline content and meetings

### Target group

women of reproductive age



Phases I and II of the "Possibility to Change" project to support women living by manual waste sorting at landfills were implemented with the support of MONES. We conducted a study on the quality of living and working environment of about 100 people working at the Tsagaan Davaan landfill, and organized the necessary training and community work for about 600 people in duplicate.



We organized lot's of meeting with government body. Female Parliament members were introduced to the need and formulation to specify sexual harassment in the workplace under the revised version of the Labor Law. It was decided to get their support in this matter.



The first branch of the MWESF was established on May 31, 2019 in Uvurkhangai aimag. They started their careers with the creation of the Dharma Barinta and won an international project.

Our branches are being established in Khuvsul, Gobi-Altai, Selenge, Dornod, Khentii and Umnugovi aimags.



The Chairman of the Constitutional Tssets sent a request to the members of the Parliament on issues related to the NPC and organized some actions with the media.



Утас: 70137083, 99895070 и-мэйл: mwesf1@gmail.com

пэйж: Монголын эмэгтэйчүүдийн хөдөлмөрийг дэмжих холбоо





**MONGOLIAN WOMEN'S EMPLOYMENT SUPPORT FEDERATION**  
 NON PROFIT, NON POLITICAL, NON-GOVERNMENT ORGANAZATION  
 ULAANBAATAR, UVURKHANGAI, KHUVSGUL

**ANNUAL REPORT 2020**

**We are:**

Established in 2014 on a voluntary basis, it is a self-governing NGO with branches in Uvurkhangai and Khuvsgul provinces.

**Our beliefs:**

As long as girls and women have jobs and incomes, they can be free from violence and enjoy their social, cultural, political and economic rights.

**Mission:**

Contribute to the right of girls and women to work and equal economic opportunities

**STRATEGY 1: Influencing to protect the labor rights:**

The Ministry of Labor and Social Welfare, the Government and members of the Parliament agreed the issue after many monitored and evaluate the implementation of the policy and legal environment, publicize it, conduct research and influence the situation, and report to the UN Human Rights Committee and the Women's Committee.

**СТРАТЕГИИ 2: To improve women's empower:**

As part of the campaign to empower girls and women for labor rights, economic and environmental justice, and to strengthen leadership capacity, a total of more than 300 citizens and women were educated on human rights, labor rights, and gender equality.

**Programms in number:**

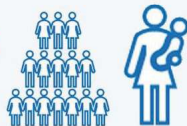


Analysis of **42** legal, policy and research documents

**974** questionnaire survey



Meetings with more than **50** target group women in Ulaanbaatar, Uvurkhangai and Khuvsgul aimags



**5** upper and middle level discussions



**763** people demand to Government: rent, interest rate unemployment benefits

**300** women are participated the training



**63** times Official requests and demands to members of the Parliament, the Government and relevant officials



**23** legal advice and information services for women



**ЭРТЭЧ ШУВУУХАЙ**  
 МЭХИХ ТБС  
 More than **80** members and supporters meetings



Утас: +976 70137083, +976 99895070 e-mail: mwesf1@gmail.com  
 Facebook page: Монголын ЭМЭГТЭЙЧҮҮДИЙН ХӨДӨЛМӨРИЙГ ДЭМЖИХ ХӨЛБӨӨ

団体名	わたしの家協会 NGO 所属「わたしの家」孤児院
設立年	1998 年
住所	ウランバートル市バヤンズルフ区第 26 ホロー、イフモンゴル地区 901 番棟 1 号室
電話番号	976-91913482 , 976-90903482
E-mail	<a href="mailto:Enhtsetseg972@yahoo.com">Enhtsetseg972@yahoo.com</a>
URL/Facebook	Enhtsetseg Aaya Taij
代表者名	N. ガーマー
活動内容	孤児に対する養護、福祉活動を行っています。
日本・各国との協力状況	<p>1998 年から東京大学教授が「わたしの家協会 NGO」の G. エンフツェツェグ代表らと低所得者層の子ども、家出した子ども、障害児、シングルマザーについて 5 年間調査を行い、14 世帯 18 名の子ども、10 世帯の母子家庭に援助・支援を行ってきました。</p> <p>2003 年から 1~3 歳の 8 名の子どもたちを受け入れ、ウランバートル市子ども保護国家センター提言書特別許可に従い、24 時間体制で 4 名の職員と「ゲル・エージ」福祉センターを開所しました。現在、1~21 歳の 42 名がここで生活しています。</p>
JICA との協力状況	



### Манай гэр 1.2

Асрамжийн газрын үйл ажиллагааны товч танилцуулга

Анх 1998 оноос эхлэн Япон улсын иргэн, Токиогийн их сургуулийн Багш Аратамаэ – Кэн манай гэр бүл Нийгэмлэг ТББ-н тэргүүн Г.Энхцэцэг нар нийгэм дэх эмзэг бүлгийн хагас, бүтэн өнчин, орон гэрээсэ дайжсан, хөгжлийн бэрхшээлтэй хүүхдүүд, өрх толгойлсон эмэгтэйчүүдийн талаар 5 жилийн хугацаанд судалгаа явуулж 14 өрхийн 18 хүүхэд, 10 өрх толгойлсон эмэгтэйчүүдийн гэр бүлтэй хамтарч тэдэнд тусламж дэмжлэг үзүүлж ирсэн юм.

1. 2003 оноос эхлэн 1-3 насны 8 хүүхдийг Улаанбаатар хотын ХХҮГ-ын захирамж тусгай зөвшөөрлийн дагуу 24 цагаар 4 ажилтантай / Гэр ээж/ халамжийн төв нээн ажиллуулсан.

2. 2003-с эхлэн 1-16 насны 86 хүүхдийг түр байрлуулах, эрүүлжүүлэх, сургууль цэцэрлэгт хамруулах, орон гэрт нь буцаах, төрөл саданг нь олж өгөх ажлыг тасралтгүй явуулж эхэллээ.



21 дарь эхийн дуулалт бүжиг



21 намны бүжиг



3. "Дуугаар хөлөглөсөн ирээдүй" урлагийн их наадамд оролцож мөнгө хүрэл медаль авч үргэлжлүүлэн Монголын анхны хүүхдийн хамтлаг Бөөгийн бүжиг, 21 цамын бүжиг, 10 хангал 21 дарь эх зэрэг үндэсний дуулалт бүжгийг дэглэн олны хүртээл болгосон.

4. Хүүхдүүдийг уран хатгамал, уран холбоо, наамал шигтгээ, хувцас, эсгүүр оёж, бүтээхийг зааж сургаж амьдралд бэлтгэн, урлаж бүтээхийн ач тусыг заан сургасан. Хүүхдүүдийн урласан бүтээлээр 2 удаагийн хүүхдийн үзэсгэлэн гаргасан.



5. Одоогийн байдлаар 5 – 19 насны 25 хүүхдийг БЗД-н 26-р хороо Их Монгол хорооллын арын орц, 1 тоотод, 19- 21 насны 10 хүүхдийг БЗД-н 1-р хороо 26 байрны 16 тоотод 2 салбартайгаар асрамж халамжийн үйл ажиллагаа явуулж байна.

6. 2015 оноос эхлэн хүүхдүүдэд байгаль орчинноо хайрлах, ургамал ногоогоо хайрлах, идэж буй ногоогоо ургуулж, тарьж сургах ажлын хүрээнд хүлэмж, ногсон талбайг байгуулан хүүхдүүдийг ногоо тарих ухаанд суралцуулан, үргэлжилсээр байна.

7. Түүшиг, 22-р цэцэрлэгт СӨБ боловсрол, 2, 133-р сургуульд тус тус хүүхдүүд боловсрол эзэмшиж байгаа бол Хамаг Монгол МСҮТ, Эрдэнэ Сумын МСҮТ, Донбоско МСҮТ, Баянчандмань МСҮТ-г нийт 8 хүүхэд төгсөж мэргэжил эзэмшин, мэргэжлээ дээшлүүлэхээр Эко Ази Дээд сургуульд 3 хүүхэд, Сити Их Сургуульд 2 хүүхэд тус тус бакалаврын зэрэг эзэмшин төгссөн.

8. М.Батжаргал, Б.Амгаланбаатар нар нь 2019 – 2020 оны хооронд Япон улс руу Их Сургуулийн Үйлдвэрийн дадлага амжилттай хамгаалаад ирсэн.

9. Б.Батдорж нь 2019 онд хугацаанд цэргийн албанд татагдан, цэргийн албаа амжилттай хамгаалж халагдан ирсэн. Одоо Үндэсний аврах бригадад сувлалгчаар ажиллаж байгаа.





Б.Батдорж -г Цэргийн албанаас халагдахад нь НОСК-с 1 өрөө байрны батламжийг гардуулж өгөв.

Мөн М.Батжаргал нь МХН Цогц чадмаж академид Албан хэрэг хөтлөлт, Нарийн бичиг мэргэжлээр амжилттай төгссөн. 2021 оны 10 сард Япон улсын Сайтама хот дахь EINKOKU сургуульд суралцахаар болсон.



Амьдрах ухаанд бэлтгэгдэн Ногоон тарьж, гурил бүтээгдэхүүнээр талх нарийн боов хийж сурсан.



Улаанбаатар хот, Баянзүрх дүүрэг, 1-р хороо  
26-р байр 16 тоот

БЗ дүүргийн 26-р хороо, Их Монгол хороолол,  
9016айр -1тоот

Утас: 91913482

И-мэйл: [enhtsetseg972@yahoo.com](mailto:enhtsetseg972@yahoo.com)



## МАНАЙ ГЭР Асрамжийн газар

### БИДНИЙ ЗОРИЛГО

Манай хамт олон хүүхдийг гэрийн нөхцөлд таатай, тайван, аюулгүй, өвчингүй, дарамт шахалтгүй орчинд асарч, боловсрол эзэмшүүлж, чөлөөт цагийг нь зөв таатай өнгөрүүлж, авьяас чадварыг нь хөгжүүлж, амьдрах ухаанд бэлтгэнэ.



団体名	モンゴル SOS 子どもの村
設立年	2002 年
住所	ウランバートル市バヤンズルフ区第 16 ホロー、16 地区ウランホアラン通り 1
電話番号	976-11-451702
E-mail	Sos.Mongolia@sosmon.mn
URL/Facebook	
代表者名	Ts. ツェレンダワー
活動内容	<p>SOS 子どもの村インターナショナルは、72 年間子ども向け福祉サービスの 1 つである家族に基づいたサービスを、世界の何百万の子どもたちに行ってきました。同団体のモンゴル支部モンゴル SOS 子どもの村は、2002 年から活動を行っていて、現在約 2,400 名の子どもを対象に、安全な家庭環境で生活し、教育を受け、社会で自立して生活できる個人にするとともに、子どもが家族から離れるリスクを予防し、家族を支援しています。</p> <p>19 年間にモンゴル SOS 子どもの村は、青少年、家族の変わりゆくニーズに合わせて活動を広めてきました。現在私たちは 2 つの SOS 子どもの村、2 つの若者対象サービス、1 つの家族支援プログラムを通じて、援助、支援が必要な青少年と家族を対象にサービスを行っています。</p> <p>SOS 子どもの村で生活している子どもたちは、普通の家族と同様に SOS のお母さんと一緒に生活し、幼稚園、小学校に通うと共に、NGO が主催している補講授業（数学、モンゴル語など）、チェス、歌、ダンスのクラブにも通っています。子どもたちは 1 つの家族として一緒に生活しています。</p> <p>若者対象サービスで生活している若者たちは、NGO が主催しているセミナー、活動に参加し、将来自立して生活する生活の知恵、能力を学び、社会におけるマナー、コミュニケーション能力を学ぶなどのセミナー、活動に参加しています。</p> <p>家族支援プログラムでは、子どもが両親、兄弟と一緒に参加し、同プログラムで開催している教育、保健、セミナー、カウンセリング、援助、支援などの活動の対象になります。また両親が裁縫や木工の研修に参加することで、子どもや家族に服を作ってあげる、自分の家の修理など多くのことを自立してできるようになります。これは将来、その家族の経済状況にもプラスの影響を与え、子どもが家族と一緒に生活するチャンスをつくっています。</p>
日本・各国との協力状況	
JICA との協力状況	



